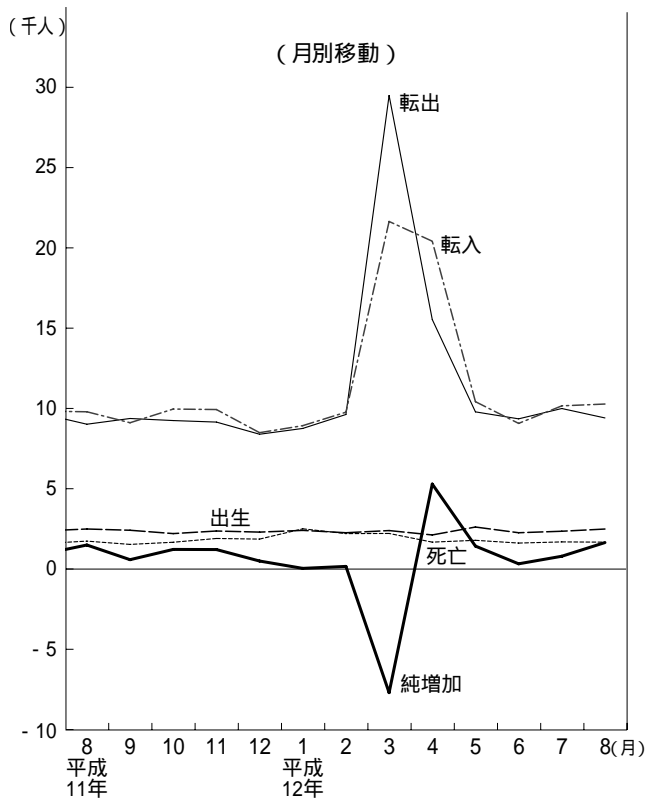


●今月の主な動き



今月の主な動き

人口



人口(12年9月1日)(再掲)

8月の概況

本県の人口は、8月中に1,683人増加し、9月1日現在で3,004,266人(男1,498,902人,女1,505,364人)となった。

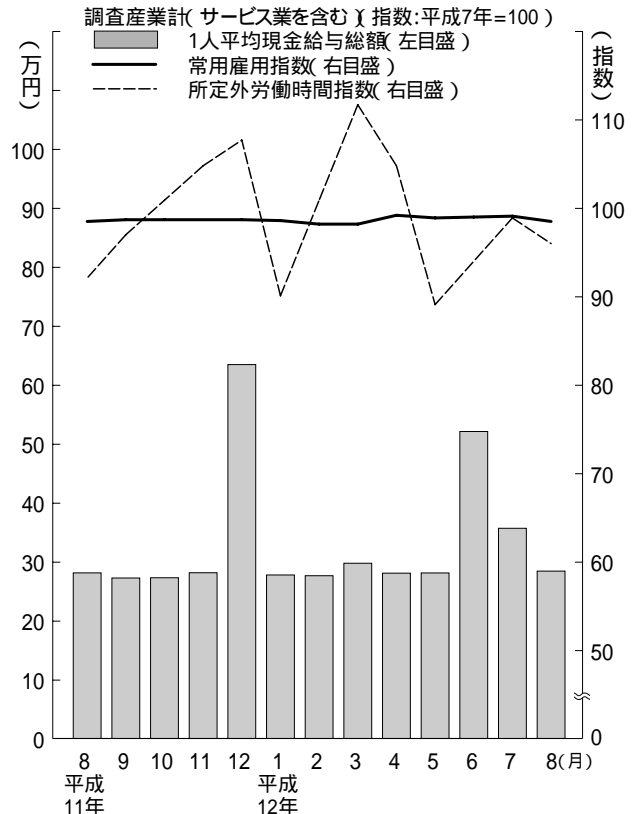
内訳は、自然動態で、817人(出生2,525人,死亡1,708人)増加し、社会動態で、866人(転入10,310人,転出9,444人)増加した。前年同月と比べると5,915人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が16市33町村,減少が4市31町村,増減なしが1村である。

世帯数についても8月中に1,210世帯増加し、999,835世帯となった。

平成12年10・11・12月の各1日現在の結果は、平成12年国勢調査の速報値(公表12月下旬)をもとに集計するため、平成13年1月中旬頃の公表になります。

賃金・労働時間・雇用



賃金・労働時間・雇用(12年8月)

1. 平均賃金の推移

8月の現金給与総額は、調査産業計で、283,808円、対前年同月比1.0%増であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は271,158円、対前年同月比1.8%増であった。特別に支払われた給与は12,650円であった。

2. 労働時間

8月の総実労働時間は、調査産業計で、146.3時間、対前年同月比0.8%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は136.5時間、対前年同月比0.6%増であった。所定外労働時間は9.8時間、対前年同月比4.2%増であった。

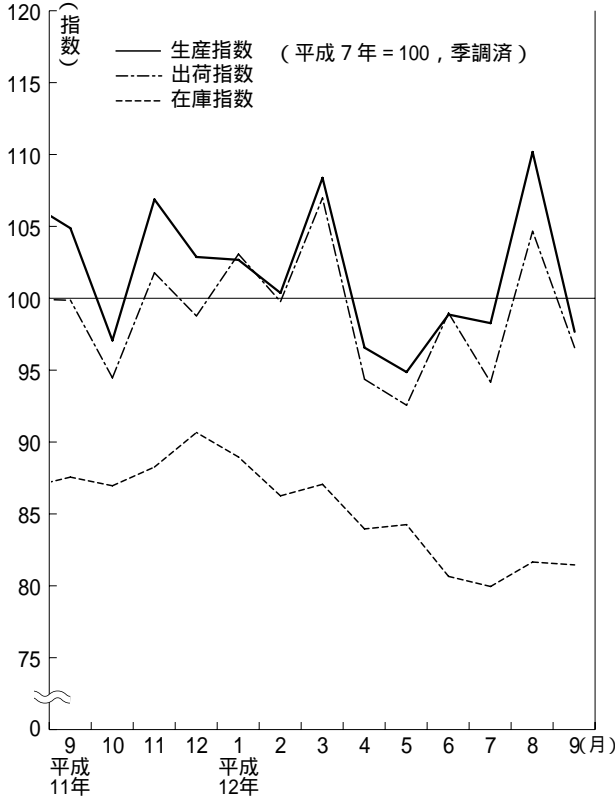
3. 雇用の動き

8月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、前年同月と同水準であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

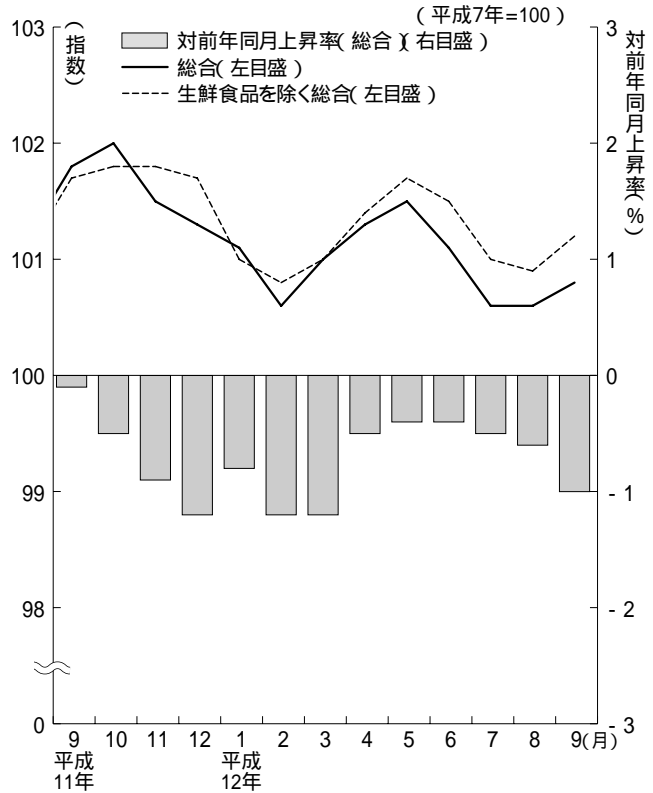


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年9月)

本県における平成12年9月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が97.6, 出荷が96.5, 在庫が81.4であった。

- 1 生産の前月比は 11.4%の低下, 前年同月比は 6.8%の低下であった。業種別に前月比をみると、食料品・たばこ工業, 非鉄金属工業が上昇し, 電気機械工業, 一般機械工業, 精密機械工業等が低下した。財別にみると, 建設財が上昇し, 耐久消費財, 資本財等が低下した。
- 2 出荷の前月比は 7.7%の低下, 前年同月比は 3.4%の低下であった。業種別に前月比をみると, プラスチック製品工業, 非鉄金属工業, 鉄鋼業が上昇し, 電気機械工業, 精密機械工業, 窯業・土石製品工業等が低下した。財別にみると, 建設財が上昇し, 耐久消費財, 資本財等が低下した。
- 3 在庫の前月比は 0.2%の低下, 前年同月比は 6.9%の低下であった。業種別に前月比をみると, 精密機械工業, 鉱業, 電気機械工業等が上昇し, 鉄鋼業, その他工業, 一般機械工業等が低下した。財別にみると, 非耐久消費財, 耐久消費財等が上昇し, 建設財, その他用生産財等が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年9月)

平成12年9月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で100.8(平成7年=100)となり、対前月比は(+)0.2%上昇し、対前年同月比は(-)1.0%の下落となった。

今月の上がった主な項目...シャツ・セーター類19.5%
洋服5.8%

今月の下がった主な項目...生鮮果物(-)10.4%
生鮮魚介(-)3.7%

生鮮食品を除く総合は101.2となり、対前月比は(+)0.3%上昇し、対前年同月比は(-)0.5%の下落となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.8	0.2	1.0	保健医療	111.7	0.1	1.0
食料	99.7	0.5	3.0	交通通信	97.7	0.4	0.3
住居	102.0	0.1	0.6	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	102.8	0.0	1.9	教養娯楽	98.2	0.2	0.5
家具・家事用品	93.2	0.4	2.9	諸雑費	102.4	0.0	0.3
被服及び履物	104.0	6.0	3.3	生鮮食品を除く総合	101.2	0.3	0.5